京都府地球温暖化防止活動推進センター通信
うおーみんぐ
2023 冬号 no.74
warming

ペーパーレス化のため記事の全文をwebで公開しております。ぜひご覧ください！

特集

家族の健康維持と光熱費削減を実現する手軽な手法とは

高断熱化のメリットとしては暖房だけでは得られない快適性が向上すること！

「家族の健康を守ったうえで、生活の質をも上げる省エネ」について、住宅における健康と省エネがご専門の太田周彰氏（株式会社住宅みちしるべ 一級建築事務所・近畿大学建築学部非常勤講師・関西大学環境都市工学部非常勤講師）にお聞きしました。

第 10 期推進員
府内各地で活躍中！

インタビュー

「自分の言葉で、環境のことを伝えたい」

～コロナ禍の中でも、やりたいことを見つける～

推進員・平井鈴音菜さん（大学生）

2021年度から京都府の「WE DO KYOTO！ユースサポーター」として活動されていて、今年で2年目。どんな活動をしているのか、お伺いしました。

クイズ

世界保健機構（WHO）は、住宅における健康上の負担の軽減に向けて暖かい室内環境が実現することを求めています。室内温度を最低何℃以上にするよう勧告しているでしょう？

（1）12℃以上　（2）15℃以上　（3）18℃以上

答えのページはコチラ

家族の健康維持と
光熱費削減を実現する手軽な手法とは

太田周彰氏（株式会社住宅みちしるべ 一級建築士事務所・近畿大学建築学部非常勤講師・関西大学環境都市工学部非常勤講師）

（本文抜粋）

我々の生活において、省エネと言うと従来は「電気をこまめに消す」とか「無駄にお湯を使わない」といった、どちらかというと住まい手の努力を必要とする省エネのイメージがありました。

しかし、このような住まい手の生活様式に頼った省エネ手法は、一部の意識の高い住まい手にしか根付かず、誰もが積極的に行いたいとは思えない側面があります。

そこで、ここでは比較的手軽で家族の健康維持に繋がり、光熱費削減効果も高い手法をご紹介します。

続きは web へ！ ▶▶▶

記事全文が掲載された web ページはコチラ

「自分の言葉で、環境のことを伝えたい」
～コロナ禍の中でも、やりたいことを見つける～
第 10 期推進員　府内各地で活躍中！　平井鈴音菜 さん（大学生）

（本文抜粋）

ユースサポーターとは、京都府と共に環境啓発活動を行う若者として、京都府知事から委嘱を受けて活動されている方のことをいいます。

今年度のユースサポーターの活動として、一つは環境活動に熱心に取り組んでおられる企業さんを訪問して取材をされています。もう一つは情報発信です。ラジオでの発信や、イベントで京都府の職員さんと協力しながら啓発活動をされています。その他、環境に関する勉強会や、ユースサポーター同士で話し合う会議があり、コロナ禍の中でもオンラインを活用して離れた場所の学生さんも参加できているとのこと。

ユースサポーターの活動は、どのあたりにやりがいがあるのかなどもお伺いしました。

続きは web へ！ ▶▶▶

記事全文が掲載された web ページはコチラ

当センターでは、インターネットを活用した情報発信を充実させ、紙資源の節約を図っています。

フェイスブック　ライン　YouTube

ツイッター　インスタグラム

SNSにぜひご登録ください

←バックナンバー　ホームページ→

KCfCA
Kyoto Center for Climate Actions

京都府地球温暖化防止活動推進センター
（特定非営利活動法人　京都地球温暖化防止府民会議）

ADDRESS：〒604-8417
京都市中京区西ノ京内畑町 41 番 3
TEL：075-803-1128（代）
FAX：075-803-1130
E-mail：center@kcfca.or.jp
URL：https://www.kcfca.or.jp

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成15年10月10日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げたNPO法人　京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。